

新白河駅に歓迎モニュメント

6月30日、JR新白河駅構内に、白河市と西郷村で設置する白河甲子高原観光開発協議会（会長 佐藤正博西郷村長）がモニュメントを設置し、除幕式を行いました。

モニュメントは、古代白河の関をイメージしたもので、門柱（横4,670mm、高さ3,300mm、幅450mm）とその脇に柵と説明の看板があり、東北の玄関口として観光客を歓迎します。



子どもの夢と明るい未来のために

7月3日、東文化センター（東釜子）で、「白河市青少年健全育成推進大会」が開催されました。市内の中学生8人による「少年の主張」では、日常生活の中で感じたこと、体験したことなどを発表しました。その他には、青少年健全育成成功労者・優良団体の表彰や、県子ども会育成会連合会会長による講演会、県のあいさつ大使キビタンキャラバンのPRが行われました。



献血キャンペーンに311人

7月9日、白河駅前イベント広場で「愛の血液助け合い運動」に合わせた「街頭献血キャンペーン」が実施されました。開会式では、県知事メッセージの伝達式も行われ、鈴木市長に献血推進メッセージが手渡されました。

この日、311人の献血の受付があり、このうち249人が献血を行い、22人の骨髄バンクへの登録がありました。



ブルーベリーを白河の新たな特産品に

7月9日、白坂石阿弥陀に、白河ブルーベリーの会（菅原修一会長）による「白河ブルーベリーの丘」が開園しました。

開園式では、菅原会長や鈴木市長など関係者がテープカットを行い、白坂幼稚園の園児たちがくす玉を割り、開園を祝いました。

園児たちは、楽しくブルーベリーを摘み取っていました。



▶ オープニングセレモニーでのテープカット



▶ 新事務所の窓口の様子

まち Topics トピックス

白河観光物産協会が白河駅舎に移転

7月13日、JR白河駅で、白河観光物産協会新事務所の開所式が行われました。

白河観光物産協会（和知繁蔵理事長）が、白河地域の観光の振興や魅力の発信、中心市街地の活性化などを目的に、これまでの市役所内からJR白河駅舎内に事務所を移設したもので、式では関係者がテープカットを行い、新事務所の業務開始を祝いました。

和知理事長は、「白河観光物産協会は、新事務所の開所により新たな一歩を踏み出した。白河地域の観光振興に一層力を尽くしたい。」と述べました。

新事務所には、新たに観光案内所が設置され、市内観光施設やお土産品の紹介など、様々な情報を提供します。案内所では、午前9時から午後6時まで、年末年始を除いて毎日白河の魅力を発信します。

社会を明るくする運動

7月1日、市役所正面玄関前で、社会を明るくする運動の法務大臣メッセージ伝達式が行われました。同運動は、犯罪や非行のない明るい社会を築くために展開しているもので、井坂巧福島保護観察所長が鈴木市長に法務大臣のメッセージを伝達しました。また、式にはダルライザーも参加したほか、終了後は市内3か所にて啓発活動を実施しました。



環境について考えました

7月7日、市文化センター（中田）で、市制施行5周年記念事業「しらかわ環境フォーラム」と「クールアースデー in しらかわ」が開催されました。フォーラムでは、気象キャスターの小越久美さんの講演や市内の小学生による「フードマイレージ買い物ゲーム」が行われました。クールアースデーでは、「エコろうそく」が点灯され、ライトダウンを呼び掛けました。



▶ ダルライザーが子どもたちにお菓子を配っている様子